社会福祉充実残額算定シート

1．「活用可能な財産の算定」

項目	金額
資産（a）	5,376,090,880
負債（b）	1,498,565,600
基本金（c）	763,496,305
国庫補助金等特別積立金（d）	549,507,886
合計（a－b－c－d）	2,564,521,089

手入力（必須入力）するセルです（※「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」搭載版では、他シートを参照するための計算式が設定されていますので、手入力は不要となります。）

計算式が設定されており、入力することはできません。

手入力するセルです。（不明の場合は、記載要領に従って入力してください）

合計額を算出するための計算式が設定されており、入力することはできません。

プルダウンリストから選択するセルです。直接入力することはできません。

2．「社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等」

（1）財産目録における貸借対照表価額

合計（a）	4,283,413,218

（2）対応負債

項目	金額
1年以内返済予定設備資金借入金	54,208,000
1年以内返済予定リース債務	0
設備資金借入金	1,254,352,000
リース債務	0
合計（b）	1,308,560,000

（3）合計

項目	金額
財産目録合計（a）	4,283,413,218
対応負債合計（b）	1,308,560,000
対応基本金（c）	763,496,305
国庫補助金等特別積立金（d）	549,507,886
合計（a－b－c－d）	1,661,849,027

3．「再取得に必要な財産」

（1）将来の建替費用

財産の名称等	取得年度	建設時延べ床面積（小数点以下第４位を四捨五入）	建設時自己資金	大規模修繕実績額	減価償却累計額	建設単価等上昇率 ①建設工事費デフレーター	建設単価等上昇率 ②１㎡当たり単価上昇率 一般的１㎡当たり単価（a）	建設単価等上昇率 ②１㎡当たり単価上昇率 当該建物の建設時の取得価額（b）	建設単価等上昇率 ②１㎡当たり単価上昇率 建設時延べ床面積（c）	建設単価等上昇率 ②１㎡当たり単価上昇率 a/（b/c）	建設単価等上昇率 ①、②のいずれか高い方の率	自己資金比率 ③一般的自己資金比率	自己資金比率 ④建設時自己資金比率 建設時自己資金（d）	自己資金比率 ④建設時自己資金比率 d/b	自己資金比率 ③、④のいずれか高い方の率	合計額
寿光園建物(新館)	2010	2,659.9000	988,857,000	0	205,682,252	1.072	250,000	988,857,000	2,659.900	0.672	1.072	22%	988,857,000	100.0%	100.0%	220,491,374
グループホーム寿光園　建物	1999	356.0500	1,101,170	3,465,000	32,064,685	1.126	250,000	75,776,170	356.050	1.175	1.175	22%	1,101,170	1.5%	22.0%	8,288,721
建物	1980	309.8400	2,846,083	0	60,374,574	1.333	250,000	69,420,000	309.840	1.116	1.333	22%	2,846,083	4.1%	22.0%	17,705,447
寿光園　建物	1978	2,274.8800	10,244,450	79,775,877	290,865,149	1.612	250,000	304,501,250	2,274.880	1.868	1.868	22%	10,244,450	3.4%	22.0%	119,533,941
建物（柏寿/高寿）	2017	5,150.0100	395,385,377	0	3,541,303	1.000	250,000	1,384,385,377	5,150.010	0.930	1	22%	395,385,377	28.6%	28.6%	1,012,812
デイ建物	1996	507.4000	1,162,982	0	115,469,636	1.102	250,000	224,300,000	507.400	0.566	1.102	22%	1,162,982	0.5%	22.0%	27,994,458
建物	1981	1,799.2000	39,866,524	55,422,637	426,199,276	1.328	250,000	466,080,000	1,799.200	0.965	1.328	22%	39,866,524	8.6%	22.0%	124,518,380
太寿建物	2011	2,197.6800	79,711,700	0	74,158,028	1.056	250,000	407,461,700	2,197.680	1.348	1.348	22%	79,711,700	19.6%	22.0%	21,992,304
特養　楽寿	2014	2,296.7700	134,182,504	0	45,538,487	1.004	250,000	653,662,504	2,296.770	0.878	1.004	22%	134,182,504	20.5%	22.0%	10,058,541
合計																551,595,978

※　割合は小数点第4位四捨五入。

※　行が不足する場合は適宜追加すること。

（2）大規模修繕に必要な費用

減価償却累計額（a）	一般的大規模修繕費用比率（b）	大規模修繕実績額	合計額①	※大規模修繕額が不明な場合 貸借対照表価額（c）	※大規模修繕額が不明な場合 合計額②（（a×b）×c/（a＋c））	合計額（①、②のいずれか）
205,682,252	30%	0	61,704,675	783,174,748	48,870,103	61,704,675
32,064,685	30%	3,465,000	6,154,405	43,711,485	5,548,954	6,154,405
60,374,574	30%	0	18,112,372	9,045,426	2,360,042	18,112,372
290,865,149	30%	79,775,877	7,483,667	24,360,100	6,743,277	7,483,667
3,541,303	30%	0	1,062,390	1,061,953,657	1,058,859	1,062,390
115,469,636	30%	0	34,640,890	108,830,364	16,807,760	34,640,890
426,199,276	30%	55,422,637	72,437,145	66,183,360	17,186,207	72,437,145
74,158,028	30%	0	22,247,408	333,303,672	18,198,380	22,247,408
45,538,487	30%	0	13,661,546	608,124,017	12,709,791	13,661,546
						237,504,498

※　行が不足する場合は適宜追加すること。

（3）設備・車輌等の更新に必要な費用

合計	263,349,471

（4）合計

項目	金額
将来の建替費用	551,595,978
大規模修繕に必要な費用	237,504,498
設備・車輌等の更新に必要な費用	263,349,471
合計	1,052,449,947

4．「必要な運転資金」

項目	金額		月数	合計額
年間事業活動支出	1,120,052,111	12	3	280,013,027

5．「計算の特例」

項目	金額		月数	合計額
年間事業活動支出	-	12	12	-

6．「社会福祉充実残額」

項目	金額	控除対象財産計	計算の特例適用
活用可能な財産	2,564,521,089	2,994,312,001	※「５．計算の特例」の適用有無を変更する場合、以下のセルから選択すること。
社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等	1,661,849,027		
再取得に必要な財産	1,052,449,947		
必要な運転資金	280,013,027		
計算の特例			
合計	-429,790,000		適用する

7．「現況報告書に記載する「社会福祉充実残額」」

項目	金額
社会福祉充実残額	-429,790,000
社会福祉充実計画用財産	0
合計	-429,790,000